

澁谷内閣審議官による記者ブリーフィングの概要

日時：平成27年3月11日（水）18：15～18：35

場所：内閣府

【冒頭発言】

ハワイで開催されている首席交渉官会合ほか一連の会合について報告する。鶴岡首席交渉官は6日にハワイ入りをしている。ホスト国の発表では、9日から会合が始まることになっているが、実際には、首席交渉官の全体会合は10日から始まっている。9日は、一部のワーキンググループと首席交渉官のバイ協議に充てることになっていた。鶴岡首席交渉官は、早めに現地入りしているため、7日から9日までの間に6か国の首席交渉官とバイの協議を行った。この他、バイ協議を行った6か国と重なるが、複数の国の首席交渉官と少数国の会議を行った。首席交渉官同士のバイの協議では、今後のスケジュールの話というよりは、日本とその国との間で具体的に懸案になっている課題や、我が国との関係ではあまり問題となっていないが、その相手国にとっては非常に重要な課題を全体の中でどのように処理していくかといった話をした。

現地10日の朝に首席交渉官の全体会合が始まった。午前中は、閣僚レベルに上げずに処理できる案件はできるだけハワイで片付けようではないか、閣僚レベルに上げる案件もできるだけ間合いを縮めようという、今会合での目標が確認されたということである。前回も同じような目標だったかもしれないが、いずれにせよ、この目標が共有された。ハワイ会合後のスケジュールについては、特段、いつ頃どういう会議を、という話にはならなかった。まずは、ハワイ会合でできるところまでやろうという感じである。

午前の会合は昼頃終わり、その後は、必要に応じてバイの協議を行うということで、夕方まで全体会合は中断した。鶴岡首席交渉官は、この日はバイの協議は入れていない。

夕方の全体会議は午後4時過ぎから6時頃まで行われ、国有企業を扱った。国有企業は、先々週に、ワーキンググループだけで集まる中間会合があり、そこでの結果が報告された。国有企業は、前回のニューヨーク会合ではテキスト中心に議論したが、いくつか課題が残っており、それらの課題も含め、整理・調整する必要がある「宿題」をリストアップした。この宿題について、中間会合などで議論した結果、かなりの数が「済み」となった。こうした進捗の報告が首席交渉官の全体会合で行われた。ある首席交渉官からは評価のコメントがあったが、まだ全部が片付いたわけではなく、残っている課題をワーキンググループでこなし、14日に首席交渉官の全体会合で取り上げることとなった。課題は残っているが、知的財産のように異なる2案が鋭く対立するような感じではなく、技術的な論点についての議論を整理している。もっとも、ある論点については重要な論点であると主張する国もあるが、客観的に他の分野と比べると、技術的に整理可能な問題ではないかと思う。テキストの本体ではない、いわゆる附属書レベルの調整は、ワーキンググループのレベルで、今まさいに行われているところ。全体会合だけでなく、バイや少数国などで形を変えながら調整をしている。

並行して開催されている分野別のワーキンググループについて説明すると、国有企業は、9日から15日まで通して行う。この他、9日から交渉官が集まっているのは、知的財産、投資、物品貿易、法的・制度的事項、原産地規則（繊維含む）、政府調達である。9日は、国有企業は全体会議を行ったが、それ以外のグループは全体会議をやらずにバイや少数国の協議を行った。10日に全体会議を開催したのは、国有企業に加え、投資、原産地規則（繊維含む）、物品貿易（テキスト）、法的・制度的事項のワーキンググループである。よって、10日に全体会議を開催したのは5グループ、分野としては、原産地規則は繊維と重複するので、6分野となっている。

物品市場アクセスの協議は、9日は、交渉官レベルでのバイの協議を2か国と行った。10日は物品貿易のテキストのワーキンググループがあったので、バイの協議は行われていない。大江首席交渉官代理は、現地時間の10日午後にハワイ入りし、その日の夕刻、首席交渉官会合後に1か国とバイの協議を行った。

【質疑応答】

（記者）

11日の首席交渉官会合のテーマと、新しく始まるワーキンググループは何か。

（澁谷審議官）

首席交渉官会合は、2日目の朝は予定になかった知的財産を朝一で行うことが先ほど決まったようだが、その後の予定は、ワーキンググループと併せて明日ご報告する。

（記者）

大江首席交渉官代理とヴェッター首席農業交渉官による物品市場アクセスの協議はいつ行うのか。

（澁谷審議官）

アメリカとの協議は事後ご報告する。

（記者）

国有企業の例外の扱いに関する進捗状況は。

（澁谷審議官）

少数国やバイの協議で精力的に調整をしているようだ。この分野は「市場アクセス」ではないのだが、市場アクセスのように、オファー・リクエストに近いやり取りになっているので、全体会議で行うよりは、バイや少数国で行った方が進むということだと思う。

（記者）

知的財産のワーキンググループは、全体会合をやっていないのか。

（澁谷審議官）

9、10日はバイ協議で、知的財産は11日から全体会議をやる予定である。その前に首席交渉官会合で気合を入れるということではないか。

（以上）